

教育プログラム・コースの概要

大学名等	大阪公立大学大学院医学研究科						
教育プログラム・コース名	同種造血幹細胞移植、免疫細胞療法指導医養成コース(正規課程)						
対象職種・分野	医師						
修業年限(期間)	3(早期修了)～4年						
養成すべき人材像	同種造血幹細胞移植・免疫細胞療法の立ち上げとチーム作り、維持管理できる人材。						
修了要件・履修方法	必修科目および選択科目で計30単位以上を履修し、博士論文審査および最終試験に合格すること。						
履修科目等	<p><必修科目> 腫瘍学Ⅰ 基盤講義(医療現場・学際領域)(2単位)、腫瘍学Ⅱ 横断講義(予防・研究開発)(2単位)、発表表現演習(2単位)、研究指導(8単位)、研究公正B(1単位)、医学研究概論(1単位)、医学研究基本演習(1単位)、医学研究セミナー(1単位)</p> <p><選択科目> CS演習(1単位)、SP演習(1単位)、がん医療学実習(6単位)、他専門科目</p>						
がんに関する専門資格との連携	造血幹細胞移植推進拠点病院(厚生労働省)として認定、CAR-T細胞療法認定施設						
教育内容の特色等(新規性・独創性等)	同種造血幹細胞移植の移植源は、移植後エンドキサンによるGVHD(graft-versus-host disease)予防の開発によって血縁HLA半合致ドナーへも拡大してきているため多様化し、移植法の選択もさらに複雑になっている。また、近年、遺伝子改変T細胞である、CAR(chimeric antigen receptor)-T細胞療法による免疫療法の登場とともに、その適応や合併症などの管理が複雑になっている。このような背景から本コースでは同種造血幹細胞移植・免疫細胞療法の立ち上げとチーム作り、維持管理できる人材育成を目指す。						
指導体制	造血幹細胞移植認定医、細胞治療認定管理師、およびHCTCをはじめとした多職種からなる移植サポートチームが協働して行う。						
修了者の進路キャリアパス	血液医専門医、日本造血・免疫細胞療法学会認定医、および細胞治療認定管理師を取得し、自施設の学会認定を得る。						
受入開始時期	令和6年4月						
受入目標人数	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	計
	0	1	1	1	1	1	5
受入(養成)目標人数設定の考え方・根拠	大阪府内の国指定の19のがん拠点病院に日本造血・免疫細胞療法学会認定医を最低4-5人ずつ配置することを目標にすると、大阪府の日本造血・免疫細胞療法学会認定医が88人のため今後5年間で5人養成する。また、過去の大学院志願者数及び入学ニーズ調査から毎年度1人の志願者が見込まれるため、受入れ目標人数を5人と設定。						